

○ 本校の概要

<p>《教育目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○よく考え、工夫する子 ○いつも元気で丈夫な子 ○こころ豊かに助け合う子 ○ねばり強くがんばる子 	<p>◇知・徳・体のバランスのとれた東一の子の育成 ～未来の創り手となる</p>	<p>知(確かな学力) …基礎・基本の定着と共に、主体的・対話的で深い学びにより思考力・判断力・表現力を育成し、子供たちに確かな学力を身に付けさせる。</p> <p>徳(豊かな心) …規範意識を向上させると共に、心の教育を充実させ、子供たちの豊かな心を育成する。</p> <p>体(健やかな体) …体力向上の取り組みや健康教育の充実により、子供たちの健康、体力を向上させる。</p>
---	--	--

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	取組内容	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄 コメント
プラン1 未来社会を創造的に生きる子供の育成	コミュニケーション能力、情報活用能力、ともに生きる力等、これからの社会の変化に対応する子どもの力と自信を身に付けます。	外国語教育指導員を効果的に活用し、外国語の方々のコミュニケーション能力の育成等を図っている。 論理的、科学的な思考力の育成を目指し、「おたのみのづくり」を生かした体験活動や理数授業等を実施する。 学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、ICT機器を活用した授業を実施する。 他者の人権を尊重する人権教育の推進を目指し、人権教育資料等を活用した授業を実施する。 体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動を実践する。 未来を創る力を育てるために、外部人材(地域や保護者、専門家、企業や公共機関など)と連携して、地域学習、国際理解教育、理科教育、食育などを実施する。	4. 保護者アンケート「ICT機器を活用した授業に取り組んでいる」の満足度が90%以上である。 3. 保護者アンケート「ICT機器を活用した授業に取り組んでいる」の満足度が85%以上である。 2. 保護者アンケート「ICT機器を活用した授業に取り組んでいる」の満足度が80%以上である。 1. 保護者アンケート「ICT機器を活用した授業に取り組んでいる」の満足度が80%未満である。	4	・今年度途中、児童用タブレット端末が40台増設され、今まで以上にタブレットを活用した授業を展開することができた。保護者アンケートでも肯定的評価が91%という結果であった。タブレット端末や電子黒板などICT機器を活用した授業を展開することで、児童の興味・関心の高まりが期待できることとなり「分かりやすい授業を行うことが出来る。特に学習に苦手意識のある児童にとっては視覚的にとらえやすく、学習内容の基礎・基本の定着に効果的であった。また、次年度以降取り組んでいく「プログラミング教育」についても、本校では今年度第4学年児童がものづくり教育の一環として先行して実践した。また、それに伴い、計画的に教員の研修会を実施し、プログラミング教育の指導法やソフトの操作について学んでいる。今後もICT機器の効果的な活用、学力の定着につながる指導法を検討し、児童の学習に対する興味・関心を持続や学力の更なる定着につなげていきたい。 * 保護者353名回答 肯定評価: 319名(91%)	・ICT機器の活用が進むのは大変良いことと思う。一方でノート(メモ)をとったり要点をまとめるに要約したりといったことがおろそかにならないようにしていただきたい。 ・ものづくり学習フォーラムの発表では、4年生が1年生に教えるためのプログラミングというシナリオがよかったです。人のために何かをする工夫がよく伝わってきました。新しいことでは大変だと思いますが、ぜひ頑張ってください。 ・各種教育の積極的な取組は非常に良いことであり、未来を担った子供の能力を上げるための素晴らしいことだと思います。 ・新しい取組が生かされ、活用できることに強く未来に希望がもてます。 ・生きる力と自信を身に付けるための取組に対して保護者の満足度が高く、喜ばしい。 ・ICT機器使用の授業はますます増えます。楽しく扱っている学力向上が望めます。
プラン2 学力の向上	児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。	学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまずきや学習方法について、指導する。 算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。 学習指導講師等による算数・数学・英語の補習を実施する。 授業改善推進プランを、授業に生かす。 主体的・対話的で深い学びにより、思考力・判断力・表現力を育てる授業を実施する。	4. 保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が90%以上である。 3. 保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が85%以上である。 2. 保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が80%以上である。 1. 保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が80%未満である。	4	・全学年での算数習熟度別少人数指導の成果により、児童一人一人に応じた適切な指導を行うことができた。すべての学級でICTを活用した授業を展開したことも、児童にとって「わかりやすい」指導につながったと考えられる。 ・算数ステップアップタイムは、計算力向上のため土曜に全学級で実施した。ステップ学習シートを使って算数の基礎・基本の徹底を図った。併せて放課後に補習が必要と思われる児童を対象に実施した。算数に苦手意識のある児童にとって、繰り返しの学習や、前学年に立ち戻す学習は大変効果的である。今後も補習学習を計画的に実施し、児童の基礎・基本の確かな定着を目指す。 ・算数ステップ学習シートについては、学期ごとのお知らせに留まっているので、学期に2回は保護者に児童の到達度を知らせ、家庭学習と併せて練習させる。 * 保護者361名回答	・算数は得意、不得意と理解力の市が大きい学科です。少人数教室での指導はとても丁寧に勉強が進められています。 ・算数習熟度を確かなレベルに安定させるための努力がなされていることへの保護者の満足度も高く、好ましい。 ・地道に学力向上を目指しておられる先生方に感謝します。 ・学力の内容については判断が難しいのですが、学校行事や学校公開等もしっかり取り組んでいることを強く感じます。 ・元気で活気のある先生方に囲まれて子供たちはよく育っています。ありがとうございます。 ・土曜授業も定着し、ステップアップも活用が進んでいると思います。
プラン3 豊かな心の育成	子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育成するなど、未来への希望に満ちた豊かな心をはぐみます。	小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のまきまりなどを守るようとする意識を高める。 道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。 学校生活調査(メンタルヘルスチェック)の結果よりストレス症状のみられる児童・生徒に対して組織的に対応する。 学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。 問題行動・不登校問題等にかかわる児童・生徒に関するケース会議等を実施する。 あいさつ・靴そろえ運動を推進し、きもちよい挨拶やつづを揃える習慣を身に付ける指導に努めている。	4. 保護者アンケート「きまりを守る社会性が身に付いている」の満足度は90%以上である。 3. 保護者アンケート「きまりを守る社会性が身に付いている」の満足度は85%以上である。 2. 保護者アンケート「きまりを守る社会性が身に付いている」の満足度は80%以上である。 1. 保護者アンケート「きまりを守る社会性が身に付いている」の満足度は80%未満である。	4	・今年度の校内研究は「特別な教科 道徳」について全学年で検討し、提案授業を行った。講師の先生の講演を聞き、学年ごとに授業の流れを検討する中で児童の発達段階に応じた正義感や自己肯定感、思いやりなどの道徳的価値について児童一人一人が考えることができてきている。 ・毎週金曜日に「生活指導夕会」を実施し、各学年・専科から児童の様子や問題行動等の情報共有を行っている。集団で生活するうえで守らなければならない決まりごとの徹底や、不登校(保護室登校)対策など、様々な角度からその対応策を考えている。保護者アンケート「決まりや社会の育成など、健全な学校生活のために努力している」の項目では98%が肯定的評価という結果だった。今後も児童の規範意識の定着に向けて全教職員で取り組んでいく。 ○教育相談委員会を毎月設定し、問題行動・不登校児童について、情報共有及びきめ細かな対応を検討、実施してきた。引き続き、児童理解に努め、組織的な対応を継続していく。 * 保護者359名回答 肯定評価: 351名(98%)	・頭だけでなく、心に重きを置く教育の場は大変大切です。不登校、保護室登校児については地域のみならず何かできることはないか、これからの考えていきたいと思っています。 ・地域の区民として、校内外でのみなさんのマナーと評判は大変良く、近所でも自慢です。いじめへの取組についてはさらに積極的にやっていくことを期待しています。加えて道徳の強化もよろしくお願ひします。 ・自分を大切に、他の者への愛情をもって豊かな心形成を。 ・不登校の児童に対しての情報共有、きめ細やかな対応等実施していると思う。 ・いじめは早期発見につきます。「ふざけ」から「初期いじめ」に進む変化を見つけるのは難しいですが、よろしくお願ひします。
プラン4 体力増進の向上と健康の	スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします。	「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。 給食指導及び教科等における指導を通して、食生活の充実・改善をねらった「食育」を推進する。 体育的行事、部活動、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。 大田区体力向上モデル校として体育朝会(大なた、持久走など)や公開講座など、体力向上の取り組みを実施する。	4. 児童アンケート「(自分は)体を動かすことが好きだ」が90%以上である。 3. 児童アンケート「(自分は)体を動かすことが好きだ」が85%以上である。 2. 児童アンケート「(自分は)体を動かすことが好きだ」が80%以上である。 1. 児童アンケート「(自分は)体を動かすことが好きだ」が80%未満である。	4	・低学年の各学級には体育指導補助員が配置されており、複数体制で児童の指導が行えることにより、児童の運動量の確保、児童の安全管理ができた。また、体育・健康教育授業地区公開講座では、オリンピックによる短距離走、リレーの講義・実技を受け、児童の運動に対する関心が高まった。また、バレー競技のポツポツを体験し、バレースポーツへの理解が深まった。 ○食育としてのだしの授業や鰯節の授業、日本の伝統文化継承としての茶道の授業を実施した。今後も児童の体験活動を重視していく。 * 児童672名回答 肯定評価: 638名(95%)	・今年はオリンピック、パラリンピックが開催されるので、運動機運が高まっています。開催後も様々なスポーツに関心をもってもらいたいです。 ・2時間目と3時間目の間の休み時間には児童みんなが校庭に出て体を動かしている。好ましい。 ・健康の大切さがわかるようになってほしい。 ・今年はオリ・パラ東京大会の年であり、この機会にスポーツへの積極的な取組を期待します。 ・本物の選手から(元)直接の指導を受けることは、よいと思いました。 ・オリンピックの授業は素晴らしいです。
プラン5 魅力ある教育環境づくり	児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境をつくりまします。	授業公開日の授業評価を、その後の授業改善に生かす。 授業改善セミナー等の研修成果を生かし、主任教諭が助言・支援を行う校内研修等を実施しLOJTを充実させる。 各種研究発表会等の研究・研修の成果を、自身の授業改善に生かす。 校内委員会等を確実に実施し、学校における特別支援教育を推進する。 校内研究・校内研修を活性化し、教員の指導力向上に努めている。	4. 保護者アンケート「教員(内容や方法)を工夫している」の満足度が90%以上である。 3. 保護者アンケート「教員(内容や方法)を工夫している」の満足度が85%以上である。 2. 保護者アンケート「教員(内容や方法)を工夫している」の満足度が80%以上である。 1. 保護者アンケート「教員(内容や方法)を工夫している」の満足度が80%未満である。	4	・今年度校内研究では「特別な教科 道徳」に重点を当てて研究を続けてきた。各学年、特別支援学級でそれぞれ提案授業を行った。事前の授業には、研究推進委員だけでなく、時間のある教員が授業を参観し、授業の展開や発問、教材の提示など意見を出し合い、授業を作り上げることができている。 ・月1回の教育相談委員会では、学校生活において配慮しなくてはならない児童の共通理解や指導の留意点等について計画的に話し合うことができた。週2回勤務のスクールカウンセラーの助言も生かしながら、児童一人一人の特徴に応じた指導・助言を今後も充実させていく。 * 保護者362名回答 肯定評価: 356名(99%)	・安全・安心については地域が学区を主に守っていただきますので、校内の環境は今年度もよろしくお願ひします。 ・各理事会(学校と)の打ち合わせ等を通じ、学校長はじめ先生方の取組はしっかりとされている。また、地域、関係先との連携も積極的である。 ・先生方に期待しています。 ・配慮が必要な児童にきめ細かい指導がなされていると思う。 ・教科道徳、大変感動いたしました。私が考えている以上に深く考察した内容でした。
プラン6 学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作りまします。	教育目標・学校経営方針・学校評価等の基本情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。 地域教育連絡協議会において、児童・生徒の姿等の具体的な資料を作成して、評価に必要な学校の情報を適切に提供し、適正な評価を受けるよう努める。 学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実施する。 地域人材を生かした「読み聞かせ」や計画的な朝読書などを実施する。	4. 保護者アンケート「地域や保護者と連携した教育活動を進めている」の満足度が90%以上である。 3. 保護者アンケート「地域や保護者と連携した教育活動を進めている」の満足度が85%以上である。 2. 保護者アンケート「地域や保護者と連携した教育活動を進めている」の満足度が80%以上である。 1. 保護者アンケート「地域や保護者と連携した教育活動を進めている」の満足度が80%未満である。	4	・学校公開時には多くの保護者・地域の方々の参観があり、保護者・地域の方々の教育に対する関心の高さを感じている。それによって、積極的に情報発信することにより、学校ホームページや学校だより等を通じて、学校や児童の教育活動の様子をお知らせするよう努めている。 ・特色ある教育活動として食育や日本の伝統文化体験、地域開き(イーフンネット)の方々には大変ご尽力いただいている。地域を心とした外部人材、地域の環境を生かした学習を今後も計画的に展開していく。 * 保護者360名回答 肯定評価: 348名(97%)	・学校と地域のつながりは毎年強く感じます。防災拠点校訓練は東一小が中心として活動しました。この経験を生かして来年度のもう一段上の訓練に取り組めればと思います。 ・開かれた学校というイメージがあり、学校と地域の連携もある程度取れていると感じます。 ・家庭・学校・地域の連携がよくなされているように感じます。 ・学校・家庭・地域が一体となり、相互の連携を深めていることは非常に強く感じます。活動を会を重ねることに地域の大きな原動力となっております。 ・ホームページで写真を多く掲載していただいている保護者は喜んでます。学校公開も回数が多く、大変とは思いますがとても良い様子がいっぱい伺えます。ありがとうございます。	

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
 ○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめる。
 ○学校関係者評価の「評価」は、A: 自己評価は適切である B: 自己評価はおおむね適切である C: 自己評価は適切ではない D: 評価は